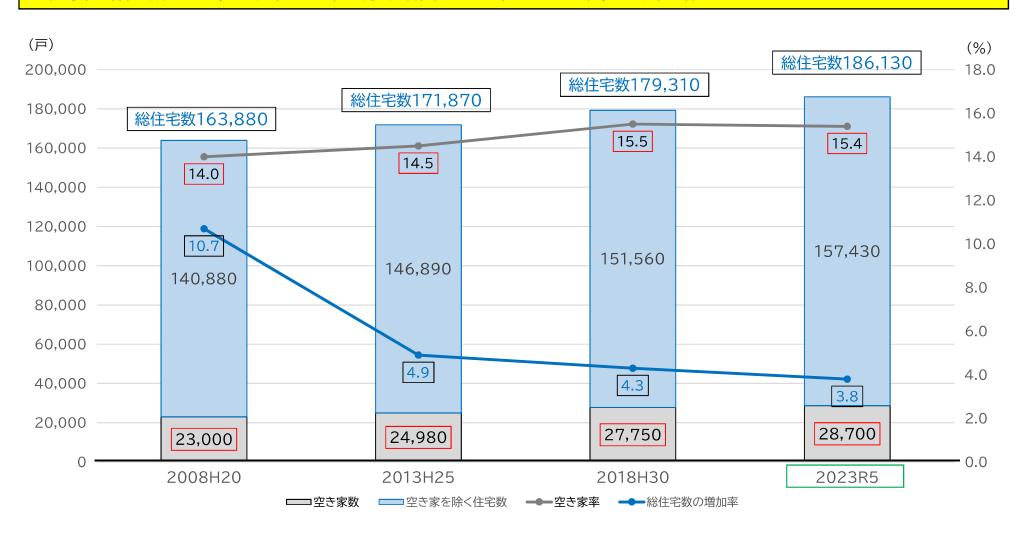
令和5年住宅・土地統計調査結果(長野市)

長野市 総住宅数及び増加率と空き家数及び増加率の推移



○ 長野市の総住宅数は186,130戸(2023年10月1日現在)、2018年から3.8%(6,820戸)の増加

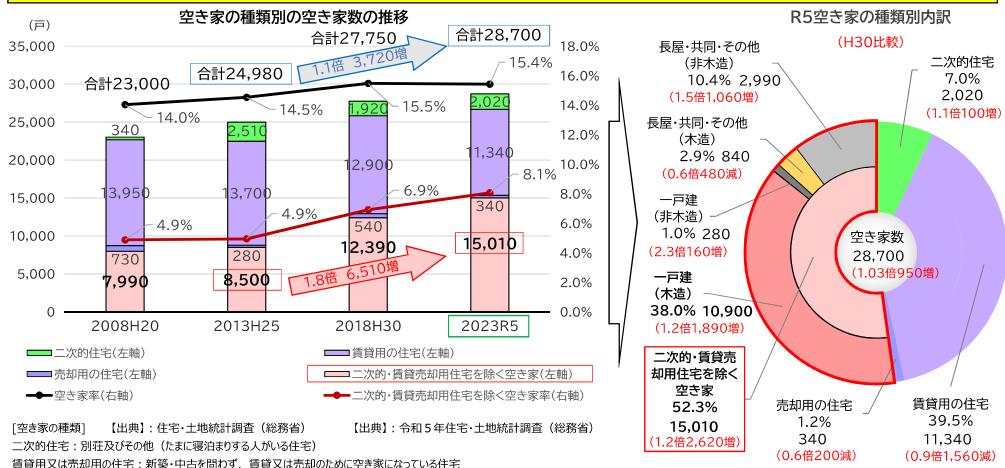


【出典】: 住宅·土地統計調査(総務省)

長野市 空き家の現状 - 空き家数の推移



- 住宅・土地統計調査によれば、空き家の総数は、この10年で約1.1倍(24.980戸→28.700戸)に増加。
- 二次的利用、賃貸用又は売却用の住宅を除いた長期にわたって不在の住宅などの「二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家(居住目的の ない空き家)」(15,010戸)がこの10年で約1,8倍に増加。
- ○「二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家」(15,010戸)のうち、「一戸建(木造)」(10,900戸)が最も多い。



賃貸用又は売却用の住宅:新築・中古を問わず,賃貸又は売却のために空き家になっている住宅

二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家:上記の他に人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など ※H28市実態調査空家等棟数(事務所・店舗含みアパート等住戸除く)8,063棟 空家率8,063(a)/159,420(a+世帯数)=4.8% 西部中山間高い(大岡44%中条32%その他20%超)市街2%~

県内市別及び全国都道府県別の空家率について



○県内の空き家率が最も高いのは茅野市。

○二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家率は大町市、岡谷市などで高い。

- ○都道府県別の空き家率が最も高いのは徳島県。
- ○二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家率は西日本で高い傾向。

長野県 19市	空き家率(%)の高い市		二次的・賃貸売却用住宅を除く 空き家率(%)の高い市		全国 47都道府県	空き家率(%)の高い都道府県		二次的・賃貸売却用住宅を除く 空き家率(%)の高い都道府県	
	2018 H30	2023 R5	2018 H30	2023 R5		2018 H30	2023 R5	2018 H30	2023 R5
県	19.6	20.1	8.4	8.9	全国	13.6	13.8	5.6	5.9
1	茅野市 37.6	茅野市 41.5	大町市 11.2	大町市 12.5	1	山梨県 21.3	徳島県 21.3	高知県 12.8	鹿児島県 13.6
2	大町市 25.7	小諸市 24.3	飯山市 10.4	岡谷市 11.6	2	和歌山県 20.3	和歌山県 21.2	鹿児島県 12.0	高知県 12.9
3	諏訪市 22.3	佐久市 21.3	諏訪市 9.8	千曲市 10.7	3	長野県 19.6	鹿児島県 20.5	和歌山県 11.2	徳島県 12.2
4	小諸市 19.6	大町市 20.3	佐久市 9.7	飯山市 10.5	4	徳島県 19.5	山梨県 20.4	島根県 10.6	愛媛県 12.2
	長野県 19.6	長野県 20.1			5	高知県 19.1	高知県 20.3	徳島県 10.3	和歌山県 12.1
5	佐久市 19.2	伊那市 20.0	伊那市 9.3	東御市 10.5	6	鹿児島県 19.0	長野県 20.1		
6	伊那市 18.7	諏訪市 19.8	千曲市 9.0	飯田市 10.4	7	愛媛県 18.2	愛媛県 19.8		
7	岡谷市 17.4	岡谷市 18.7	東御市 8.9	小諸市 10.3					
8	上田市 17.1	千曲市 18.4	上田市 8.5	伊那市 10.2					
9	千曲市 17.1	駒ヶ根市 17.2		佐久市 9.6					
			長野県 8.4						
				長野県 8.9					
9			岡谷市 8.3						
10	駒ヶ根市 15.8	飯田市 17.1	飯田市 8.3	諏訪市 8.7	(12·13·14·)15			岩手・秋田・山梨・長崎県 8.7	岩手県 9.3
11	飯田市 15.8	東御市 17.1	小諸市 7.5	上田市 8.1	16			長野県 8.4	青森県 9.3
12	松本市 15.6	上田市 16.0	安曇野市 7.4	長野市 8.1	17			大分県 8.4	長野県 8.9
13	長野市 15.5	長野市 15.4	塩尻市 7.1	塩尻市 7.7	18(•19)			岡山・広島県 8.0	山梨県 8.7
14	東御市 15.2	飯山市 15.0	長野市 6.9	駒ヶ根市 7.6					
15	安曇野市 14.6	安曇野市 14.5	須坂市 6.4	須坂市 7.6					
16	飯山市 14.5	須坂市 14.1	駒ヶ根市 6.2	安曇野市 7.2	(43·)44	神奈川県 10.8	東京都 10.9	愛知・沖縄県 4.1	沖縄県 4.0
17	須坂市 13.9	松本市 13.9	松本市 6.2	中野市 6.7	45	東京都 10.6	神奈川県 9.8	埼玉県 3.7	埼玉県 3.8
18	塩尻市 13.1	塩尻市 13.3	中野市 4.9	松本市 5.7	46	沖縄県 10.4	沖縄県 9.4	神奈川県 3.3	神奈川県 3.2
19	中野市 10.2	中野市 12.5	茅野市 4.8	茅野市 5.5	47	埼玉県 10.2	埼玉県 9.3	東京都 2.3 年度住宅、土地統憲	東京都 2.6

出典:平成30年度·令和5年度住宅·土地統計調查(総務省)

全国・長野県・長野市の総住宅数・空家率などの一覧表



【出典】: 住宅·土地統計調査(総務省)

(1)総住宅数及び増加率

	全国			長野県			長野市		
年	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5
住宅総数	6,063万戸	6,241万戸	6,505万戸	98.2万戸	100.8万戸	104.0万戸	17.2万戸	17.9万戸	18.6万戸
増加率	5.3%	2.9%	4.2%	3.8%	2.6%	3.2%	4.9%	4.3%	3.8%

(2)空家数及び空家率

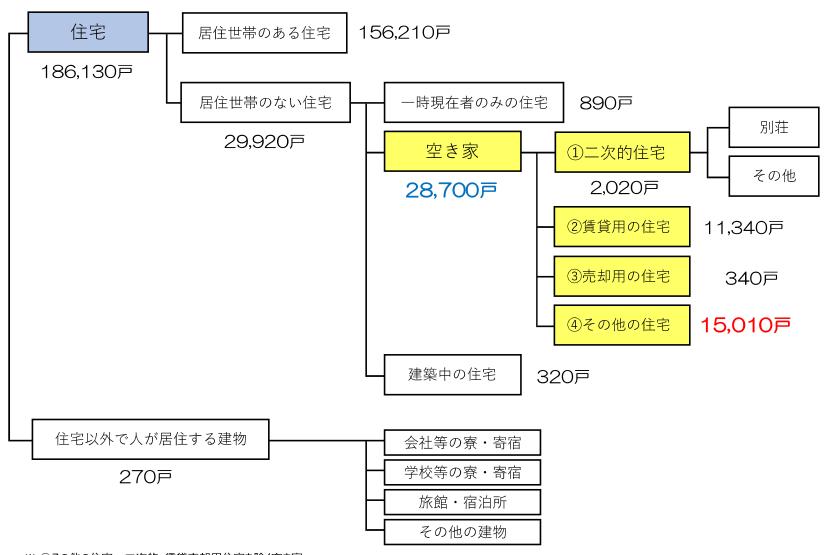
	全国			長野県			長野市		
年	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5
空き家数	820万戸	849万戸	900万戸	19.4万戸	19.7万戸	20.9万戸	24,980戸	27,750戸	28,700戸
空き家率	13.5%	13.6%	13.8%	19.8%	19.6%	20.1%	14.5%	15.5%	15.4%
				2位/47	3位/47	6位/47	15位/19市	13位/19市	13位/19市
パーセントポイント	0.4P増	0.1P増	0.2P增	0.5P増	0.2P減	0.5P增	0.5P増	1.0P增	0.1P減
5年比較	29万戸増			3千戸増			2,770戸増		
		51万戸増			1.2万戸増			950戸増	
10年比較	80万戸増			1.5万戸増			3,720戸増		

(3)二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家数及び空家率

	全国			長野県			長野市		
年	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5	2013 H25	2018 H30	2023 R5
空き家数	318万戸	349万戸	386万戸	7.4万戸	8.4万戸	9.2万戸	8,500戸	12,390戸	15,010戸
空き家率	5.3%	5.6%	5.9%	7.5%	8.4%	8.9%	4.9%	6.9%	8.1%
				16位/47	16位/47	17位/47	18位/19市	14位/19市	11位/19市
パーセントポイント	0.6P増	0.3P増	0.3P增	1.2P増	0.9P増	0.5P增	増減無	2.0P增	1.2P增
5年比較	31万戸増			1万戸増			3,890戸増		
		37万戸増			8千戸増		2,620戸増		0戸増
10年比較	68万戸増			1.8万戸増			6,510戸増		

R5住宅・土地統計調査による住宅の種類、戸数





※ ④その他の住宅:二次的・賃貸売却用住宅を除く空き家

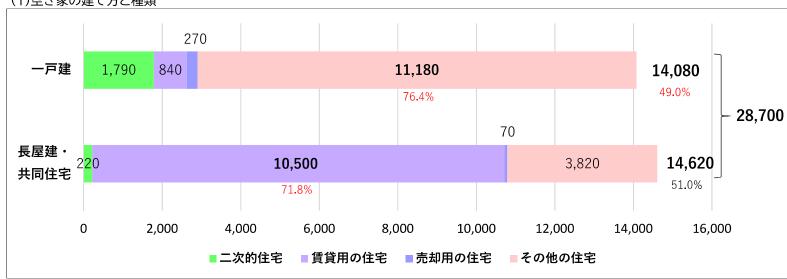
※ 住宅・土地統計調査による市区町村の数値は、1位を四捨五入して10位までを有効数値としているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない場合がある。

R5空き家の建て方、種類、腐朽・破損の有無



【出典】: 住宅·土地統計調査(総務省)





空き家28,700戸のうち一戸建 の住宅が49.0%を占め、このうち の76.4%が「その他の住宅」と なっている。

一方、長屋建・共同住宅のうち の71.8%が「賃貸用住宅」となっ ており、入居者待ちの状態になっ ていると考えられる。建物全体で 考えると、多くのものは入居室も あるため「空家等」には該当せ ず、貸主による管理がされている と考えられる。

(2)一戸建て空き家の種類別腐朽・破損の状況



一戸建て空き家の腐朽破損の状 態で、2018年(平成30年)調査 と2023年(令和5年)調査を比 較すると、「その他の住宅」で、 「腐朽・破損無し」は、1.000戸 増(14.3%増)となっており、 「腐朽・破損有り」は、1,050戸 増(49.5%増)となり、「腐朽・ 破損有り」の空き家が大幅に増加 していると考えらる。